

## 交通ルールを守って、通学も遊びも安全に!

交通安全クイズの答え

### 信号機のない横断歩道では…



渡る前にしっかり止まり、左右をよく見て、手を上げて、ドライバーに「これから渡りますよ」という合図を出しましょう。自動車がしっかり止まってくれるのを待ってから渡ります。車が通っていないと思っても、左右の安全確認を忘れずに!

### 飛び出さな! 車は急に止まれない



子どもの交通事故で一番多いのが「飛び出し事故」です。道路わきの公園などでボール遊びをしていてボールが道路に転がったり、道路の反対側から友達に呼ばれたりした時などは、特に要注意。道路の近くでは遊ばない心がけが大切です。

### 道路や駐車場では…



「車が止まっているから」「スペースが空いているから」と、道路や駐車場で遊んでいませんか?道路や駐車場は自動車が出入りするところ。止まっている車がいつ動き出すかわかりません。車がいつ通るかもわかりません。絶対に遊ばないようにしましょう。

### 自転車の交通ルールは…



自転車は車道通行が原則ですが、12歳以下の子どもは歩道を通ることができます。歩道を通る場合も必ず車道側を徐行し、歩行者が多い時には自転車から降りて、自転車を押して歩きましょう。自転車に乗るときはヘルメットの着用を忘れずに!

## 子どもを交通事故から守るために

### 通学路の交通安全対策

子どもたちの登下校の時間帯は、通勤時間とも重なり、事故に巻き込まれる危険が生じます。市では、登下校中の児童などの安全確保のため、さまざまな対策に取り組んでいます。

#### ●地域で危険箇所を見つけたら連絡を!

地域の学校・保護者・自治会と、市、警察などは定期的に、通学路の安全性を点検・確認しています。

皆さんも、危険箇所を見つけた場合は、近くの小学校へ連絡を。

#### ●具体的な安全対策

歩道や防護柵の設置、路側帯・交差点のカラー化、信号機や横断歩道の設置などの対策に加え、生活安全パトロール隊などによる登下校時の見守りや交通安全指導を実施しています。また、児童に対しては、警察や交通安全協会などの協力を得ながら小学校で交通安全教室を開催しています。



▲横断歩道部分が路面より10cm盛り上がり、車が減速する「スムーズ横断歩道」

### 地域の大人が子どもたちの「お手本」に

毎朝1時間ほど、井堀小学校の通学路に立ち、子どもたちが安全に登校できるよう、見守っています。朝の通学路で特に危ないのが、信号機のない交差点です。渡ろうとする子どもがいたら笛を吹いて制止。行き交う車に手を上げて一旦停止をお願いし、完全に止まったのを確認してから渡らせています。ラッシュ時で焦っているせいか、ろくに標識も見ずに猛スピードで走り抜ける車を時折見かけます。通学や通勤で先を急ぐ自転車もスピードが速く、注意が必要です。車や自転車を運転する人には、一旦停止や制限速度など、交通ルールの順守をお願いしたいですね。子どもは大人を見て育ちます。皆さんには、日ごろから交通ルールを守り、我が子はもちろん、近隣の子どもたちのお手本になってほしいと思います。



生活安全パトロール隊 赤松孝夫さん

## 交通公園 楽しみながら交通ルールを学ぶ場

### 園内で行う子ども向け交通安全教室

- ①親子で自転車教室** 補助なし自転車に乗る練習をします。毎月第2・4土曜日。対小・中学生と保護者。
- ②自転車運転免許講習会** 合格者には自転車運転免許証(小学4~6年生以外は講習終了証)を交付します。毎月第3土曜日。対自転車に乗れる小学生以上(小・中学生は保護者同伴)。
- ③わたる君と交通教室** 交通公園のキャラクター「わたる君」と一緒に、横断歩道の正しい渡り方を学びます。毎月第4日曜日。対小・中学生と保護者。
- ④自転車の無料貸出** 園内のコースで交通ルールを学んだり、自転車の練習ができてたりします。休園日を除く9~16時(利用は16時30分まで)。対中学生以下(保護者同伴)。雨天中止。

共通いずれも交通公園で。①~③の申事前に同施設へ問を。



交通公園は、子どもたちが正しい交通ルールや交通に関する知識を専門の安全指導員のもと、楽しみながら身に付ける場所です。

### 出張して行う子ども向け交通安全教室

**交通教室** 信号の見方や横断歩道の正しい渡り方など。対市内の幼稚園、保育園、こども園、小学校、子供会などの団体。

**自転車教室** 正しい自転車の乗り方や交通ルールなど。対市内の小・中学校、高校、子供会などの団体。

共通申事前に交通公園へ問を。

基本情報 交通公園 小倉北区井堀五丁目 1-1 ☎652・0169

開9~17時。休月曜日(祝・休日)の場合は開園し、翌日が休園)、12月29日~1月3日。

老人会や市民センターなど一般向けの交通安全教室もあり。詳しくは問を。



【この特集に関するお問い合わせ】市民文化スポーツ局安全・安心都市整備課 ☎582・2866